

ご成人おめでとう

235名が新たな門出

新成人の門出を祝う平成24年那珂川町成人式が1月9日、小川総合福祉センターあじさいホールで開催されました。式典にはスーツやはかま、振りそで姿で着飾った新成人192人が出席し、会場は華やかな雰囲気になりました。今年も、平成3年4月2日から平成4年4月1日まで誕生された235人の皆さんが大人の仲間入りをしました。

平成24年成人式は、佐藤良美副町長の開式の辞とともに厳粛に式典が行われ、大金伊一町長から「日本は自由と繁栄を謳歌する経済大国となりましたが、人間は自然の前には屈服せざるを得ないのであります。まさに日本は今、東日本大震災によって大きく損傷を受けてしまいました。原発においてはコントロール不能に陥り、再生可能エネルギーへの転換が求められております。平成23年の世相を表す漢字は「絆」でした。こういう時こそ皆さんは東北三県の被災者に心を寄せて、少しでも自分にできることを実践していったほしいと願っております。今日の豊かな時代を築き上げてきたのは、個性あふれる前向きで人間性豊かな諸先輩方であります。皆さんも諸先輩方の教えを真摯に受け止め、豊かな人間性に磨き

をかけ、地域社会の創造・発展に貢献できるように、そして、二十一世紀を担う皆さんが、無限の可能性と若い力で、多くの皆さんの幸せのため、ご活躍されることを期待いたします」とお祝いとともに期待の言葉が贈られました。

また、来賓を代表して川上要一町議会議長や石橋好那珂川警察署長から、それぞれお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して高木駿さん（小川）が「私たちは、東日本大震災の影響や経済の不況からいまだに脱却できず、低迷する雇用情勢など、現状に対する不安を抱いております。今後の人生、順風満帆とはいかず、路頭に迷うこともあるかと思いますが、これまでも家族をはじめ地域の皆さま方に支えられてきたことを思い出し、必ずやお世話になった方に報いるべく日々精

進したいと思えます」と家族や地域への感謝と将来への決意を述べました。

式典終了後、那須小川まほろば太鼓の記念演奏が披露され、新成人となった太鼓のメンバーも演奏に参加して、新成人の門出を祝いました。

その後、ホールの舞台上で出身中学校ごとに記念写真撮影が行われました。会場周辺では、久しぶりに会った友だちとの思い出話に花を咲かせたり、一緒に写真を撮る姿が見られました。



田村沙織さん（馬頭）によるピアノ伴奏



高木駿さんによる代表謝辞



見事な佇まばきの新成人メンバー



高校生ボランティアによる受付



ケーブルテレビのインタビュー



太鼓の演奏に盛りあがる新成人



なかちゃんと一緒に記念写真



久しぶりに再会した友だちと一緒に



馬頭中学校卒業生